

都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和7年3月11日

寒 川 町 議 会

出席委員 関口委員長、福岡副委員長

青木委員、佐藤委員、廣田委員、小泉委員、杉崎委員、太田委員

岸本議長

説明者 飯田まちづくり担当参事、鈴木倉見拠点づくり課長

案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について
(都市建設部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【関口委員長】 ただいまより都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会を開催いたします。

まず初めに案件に入る前に、当特別委員会の正副委員長は、現在内定の段階でありますので、改めて正式にご承認いただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【関口委員長】 それでは、よろしいということですので、ひとつお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

それでは、正副委員長として一言就任の挨拶をさせていただきます。

このたび都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会の委員長として、皆さんからご推挙いただきました。2年間しっかり頑張ってまいりたいと思っておりますので、どうかお力添えをよろしくお願いしたいと思います。お世話になります。よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、福岡副委員長よりご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【福岡副委員長】 皆様、改めまして、おはようございます。このたび都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会副委員長という大役を仰せつかりました福岡正也でございます。新人ということで至らぬ点もあるかもしれませんが、しっかりと全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【関口委員長】 それでは、この任期中委員の皆様には大変ご苦勞をおかけしますが、どうかご協力をいただいて、スムーズに委員会を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

本日の案件につきましては、お手元に配付のとおりであります。案件1及びその他の2件でございますので、よろしくお願いしたいと思います。

まず1点目に、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について報告をいただきます。また、その他について協議してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、順次進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。また、本日は改選後初めての特別委員会でございますので、休憩の中で担当部署の職員の紹介をお願いしたいと思いますので、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【関口委員長】 よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、暫時休憩いたします。

【関口委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、次第に沿って順次進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに入っておりますので、よろしくお願いいたします。

執行部が来年度から町長室を設け、倉見拠点づくり担当を町長直轄とするということを受け、議会としても倉見のまちづくりをしっかりと見極めていくために当特別委員会を設置いたしました。初めての特別委員会ですので、執行部としても、今後どのような体制で取り組んでいくのか考えを含め説明していただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

飯田まちづくり担当参事。

【飯田まちづくり担当参事】 皆さん、おはようございます。特別委員会の議題に入る前に、お時間をいただきまして、私から当委員会に対する執行部の体制等について説明させていただきます。当委員会は、町の総合計画で位置づけられています都市未来拠点と新幹線新駅誘致などを含め、総合的な寒川町の北部地区の調査研究のための特別委員会と捉えております。今回の案件といたしましては、新駅誘致の経過報告となりますが、今後都市計画道路倉見大神線や宮山線、また圏央道寒川北インターチェンジ周辺などのまちづくりに関しまして、都市建設部及び関係各課と連携をしながら適宜対応させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、4月以降につきましては、現倉見拠点づくり課の掌握事務が町長室へと引き継がれることとなりますので、よろしくお願いいたします。

今回は倉見拠点づくり課から1件報告させていただきます。それでは、案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてでございます。こちらは、前回の特別委員会以降の経過について、鈴木倉見拠点づくり課長より報告をいたします。それでは、よろしくお願いいたします。

【関口委員長】 鈴木倉見拠点づくり課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 おはようございます。12月の特別委員会以降は、期成同盟会の活動及び神奈川県との共同調査に係る検討などを進めてまいったところでございます。

それでは、前回12月6日の特別委員会以降の経過等につきましてご報告させていただきます。経過につきましては、タブレット資料01-1 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに基づきご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、12月9日から12月14日にかけて、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会主催の絵画コンクールの作品展示が町民センターで行われました。今年度は、寒川町・平塚市の総応募作品は717作品でして、そのうち寒川町からは401作品の応募がございました。タブレット資料01-2は、入賞作品及び寒川町分の佳作の一覧となっております。こちらは例年行っている啓発活動でして、「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」というテーマで1枚の絵に表していただいたものでございます。

なお、入賞者につきましては、12月15日に表彰式が執り行われ、神奈川県県土整備局長及び寒川町長から表彰状をお渡ししていただきました。このコンクールにつきましては、将来新駅が実現した際に、大人になるであろう児童の皆様、そしてそのご家族及び来場者の皆様に対して新駅誘致とまちづくりの取組を知っていただくよい機会であると捉えております。

次に、12月19日には、期成同盟会による要望活動が行われました。衆議院及び参議院の議員会館にて県内選出国會議員へ、また国土交通省、総務省、財務省にも訪問し、それぞれ要望書を提出しております。

続きまして、12月26日、期成同盟会の幹事会が神奈川県庁で開催されました。タブレット資料01-3が当日の資料となります。内容につきましては、本年度の事業実施状況並びに今後の予定などについての情報共有でございます。

次に、1月16日に、本年度対面では3回目となります環境と共生するまちづくり検討会が開催されました。新駅整備に伴う効果や課題、町民ニーズや寒川町の特性、課題、導入機能の検討などに関し、こちらで意見交換を行っております。

続きまして、1月20日には、J R 東海品川ビルにおいて、期成同盟会による J R 東海への要望活動が実施されました。当日の出席者と要望書につきましては、タブレット資料01-4のとおりで、東海旅客鉄道株式会社からは、深見執行役員総合企画本部副本部長（東京企画開発部長）をはじめ、3名の方、期成同盟会からは、神奈川県県土整備局都市部長をはじめ7名が出席し、町からは深澤副町長が同席しております。副町長からは、状況報告とともに技術相談の継続的な実施、それから地元の機運を高めるための新たなメッセージを発信していただけるよう発言をしていただいております。定期的に J R 東海に要望や、この後申し上げます技術相談を受けていただいていることにつきましては、町としましても、新駅設置に向けて非常に心強いものと捉えております。引き続き期成同盟会の一員として活動を継続してまいりたいと考えております。

続きまして、2月27日、J R 東海品川ビルにおきまして、第4回目となる倉見地区まちづくりに関する J R 東海との技術相談を行いました。当日は、神奈川県からは、県土整備局都市部環境共生都市課長を含め5名が、町からは、まちづくり担当参事が出席し、J R 東海からは、東京企画開発部に対応していただきました。期成同盟会では、この技術相談において、令和元年度には新幹線の線路と交差する道路の一般的な考え方、令和4年度には、設計に当たっての条件、令和5年度には、道路の桁下の高さや並行する道路との空間のとり方などについて相談を行い、得られた助言を反映させながら作業を進めてきたところです。今回は道路拡幅により影響が出る既存の新幹線の橋脚の防護の方法などについて相談を行いました。今後も得られた助言をさらに活用して、まちづくりの検討を進め、次回以降の技術相談につなげてまいりたいと考えております。

記載された内容の報告については、以上となります。今後の予定につきましては、本日環境と共生するまちづくり検討会が開催されます。また、まちづくりニュースを発行し、技術相談を行った旨やこれまで及び今後の取組についてお伝えしたいと考えております。そして、これまでと同様土地利用の検討に関しては、骨格となる都市施設などに関し引き続き神奈川県からの支援をいただきながら検討するとともに、地元の皆様に対しても勉強会、説明会等を設け、機運醸成に努めるとともに、その先の将来の合意

形成につなげてまいりたいと考えております。

報告は以上となります。

【関口委員長】 ただいま報告が終わりました。それでは、質疑に入りたいと思いますので、質疑のある方はどうぞ。

青木委員。

【青木委員】 01－4のＪＲ東海への要望活動の中で、深澤副町長が参加されているということを今見たんですけど、先ほどやんわりとしか、どういったことをそこで発言したか、ここで伝えられることがあれば伝えて、どういった発言を副町長がしたのかということをお聞かせ願いたいなと思っているんですけど。

【関口委員長】 鈴木課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 大枠に関しましては、先ほど申し上げたとおりという形にはなっておりません。これまでの取組から技術相談であったり、要望等を受けていただいていること、それでさらにこれからも技術相談を継続して行わせていただきたいという旨、それから駅の受皿となるまちづくりということでもありますので、少しでも前向きなコメントをいただければ、このように副町長から発言はいただいていると聞いております。

以上です。

【関口委員長】 青木委員。

【青木委員】 そういった発言をされているんですけど、相手がＪＲ東海さんということで、ＪＲ東海さんは現時点では、その発言に対してどういった見解を示しているのかお聞かせください。

【関口委員長】 鈴木倉見拠点づくり課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 基本的には公式回答という位置づけであります、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議の回答に準ずるようなコメントという形にはなっております。内容としましては、ホームページにも公開されておりますけど、現時点では可否判断できる状況ではないところなんですけど、相談があれば引き続き相談に乗っていくというようなところ、こういったところがあります。ただ、可否判断できる段階ではないという見解を示されているものの、定期的に要望活動であったり、それから技術相談、コンタクトができていているというところは、倉見への新駅の設置に向けて大きなアドバンテージにはなっているのかなと、このようには捉えております。

以上です。

【関口委員長】 他にございますか。

廣田委員。

【廣田委員】 何点かあるんですけども、１点目に、経過報告を見ると、県主催とか、県が事務局のものばかりなんですけど、町として例えば地元説明会とかをやっているのかどうか、それと２点目は、どんな情報提供をしているのか、それと先ほどもありましたけども、いろいろな要望をしている中で、県の鉄道輸送力増強促進会議に対しての一定のこういう回答があったというところは、報告はあったんですけど、もう少しこの回答に対して町の考え方、具体的な取組をこうしていきますというような具体的な考え方、取組があるのかどうか伺います。

【関口委員長】 鈴木倉見拠点づくり課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 3点ご質問をいただいたかと思います。1点目の説明会等を開催しているのか、こちらにつきましては、8月以前の特別委員会でご報告させていただいております。6月に現況測量ということで、対象となる方に民地に立入りをさせていただくような作業もございましたので、その部分の説明をさせていただいております。その後は対象となるお宅に回りまして、その作業についてご説明させていただいて、調整等をさせていただいております。その後につきましては、説明会等なんですが、できていなかったというところが実情でございます。年度明けにつきましては、もともと地元の皆様に対しましては、勉強会をやっていくと以前ご説明はさせていただいておりますので、そちらは進めていければと考えております。

次に、情報提供につきましてなんですが、こちらについては、今ニュースを作成しているところなんですが、ニュースにつきましては、8月に1回発行しております。その後間が開いてしまったんですが、ここでニュースを発行して情報提供させていただきたいと考えております。

その次に、県鉄道輸送力増強促進会議の回答に対する町としての考え方ということなんですが、今まで駅設置については可否判断というのは確かに出ていないと先ほど申し上げたところでございます。ただ、その中で平成30年度に追加された新駅周辺のまちづくりに関し、助言等を求められれば協力することとするというコメントが追加された、これは、最初の頃は極めて困難というところから始まって、だんだん見解が新駅に対して、まだ最終的な表明はないんですけど、前向きなものに変わってきたんだと捉えております。引き続き新駅設置につきましては、期成同盟会としての活動ということになるかと思えます。活動に参加するとともに、町としても、先ほどお話ししました説明会、勉強会から間が開いてしまったところはございますが、開催してまいりたい、このように考えております。

以上です。

【関口委員長】 廣田委員。

【廣田委員】 1点目についてなんですけど、6月に説明会をやりました。そこからやっていないという話なんですけど、その理由は何でしょうか。2点目は、8月にニュースを発行しました。これも今までその後やっていない、その間地元から何かなかったんですか。いろんな意見とか、説明会をやってくれとか。3点目については、これはそういうことだと受け止めさせていただきます。1点目、2点目についてお願いします。

【関口委員長】 鈴木倉見拠点づくり課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 2点ご質問をいただいたかと思います。まず、今年度説明会が6月以降やっていなかったというところにつきましては、1つ目は、理由といたしましては、まず説明会の後に民地に立ち入るという作業がありました。それについては慎重に進めさせていただきたい、このように考えておりました。その中でその先作業の進み具合によって様子を見ながら検討していきたいと考えておったところなんですが、内部での検討等に時間を要してしまいました。これについては申し訳なく思っております。来年度以降につきましては、継続して開催を検討してまいりたいと思っております。2点目のニュースにつきましてなんですが、こちらにつきましても、測量の作業に注力させていただいたという部分がございまして、間が開いてしまったところがございます。また、確かに地元の方か

らも次の新しい情報はないのか、そういったご意見はいただいております。こちらにつきましても、間が開いて、お時間をいただいていたしましたが、情報提供に努めてまいりたいと、来年度以降も含めて考えているところでございます。

以上です。

【関口委員長】 他にございますか。

杉崎委員。

【杉崎委員】 様々要望活動等をしていただいているんですが、1点、期成同盟会の要望活動の中で、県内選出の国会議員に要望しているんですが、これは毎年やっていると思うんですけども、どの国会議員のところに行って、どのような要望活動をしているのかお聞かせください。

【関口委員長】 鈴木倉見拠点づくり課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 国会議員への要望についてなんですが、県内選出の国会議員、そして期成同盟会にもご理解いただいている国会議員に要望書を議員会館を回りまして、今回ですと、衆議院の第2では20人、それから第1で13人、それから参議院で7名の方に要望書を出させていただいております。要望につきましては、人数が結構いらっしゃるのと、また国会議員の方もスケジュール等もございますので、事務局、それから市町からの参加者で議員会館を回りまして要望書を提出させていただいて、基本的には秘書の方にご説明するというパターンが多いというのが実情でございます。ただ、今回につきましては、地元選出の星野議員がたまたまいらっしゃいましたので、趣旨を説明させていただいて、お渡しできたところでございます。また国会議員につきましては、期成同盟会の総会も代理の方も含めて出席させていただいておりますので、ある程度活動の趣旨については、一定のご理解をいただいているのかなと思っております。要望書につきましても、私たち期成同盟会の活動をご理解いただいた上でお渡ししているのも、一定のご理解はいただいているのかなと思っております。以上です。

【関口委員長】 杉崎委員。

【杉崎委員】 これもう毎年やっているじゃないですか。形骸化している、ただ要望書を出して、じゃ、その反応は何かあったのかということもあるし、国会議員の人たちがどういう考えで、どういうふうに要望書を受けて、国の中で動いていただいているのか、そういったものが全く見えないんですね。継続することはもちろん大事だと思うんですが、衆議院議員会館と参議院議員会館を回って要望書を提出して、秘書の方に渡しているだけでは、いろんな地元からの要望書は、この辺の地域の選出の国会議員以外の方たちは、理解はしているけど、じゃ、本当に積極的に動いているのかというと、私には全然見えないです。なので、もう少し違った形の国会議員へのアプローチというのは、人数が多いので、日程調整というのは難しいとは思いますが、そろそろもっと踏み込んで国会議員さんへのお話を期成同盟会として、していったほうがいいのかなと思うんですが、協力していただいている国会議員さん、代理も含めて出席していただいているようなんですが、国会議員との温度差というか、本気度が見えない、地元の代議士を含めてその辺の話が全く聞こえてこないんですよ。だからもうそろそろ、これは町だけで決められることではないので、期成同盟会として、その辺を町としてもう少し強く言っていただきたいなと思うんですが、いかがでしょう。

【関口委員長】 鈴木倉見拠点づくり課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 確かに国会議員への要望につきましては、ここ数年同じようなスタイルで行っていて、委員の指摘の部分もあろうかと思います。こちらにつきましては、お話しのとおり、町単独というよりは期成同盟会としてという形になりますので、同じ活動をしていることに対して、その結果が国会議員からもなかなか反応というか、感触というのが見えていないとお話いただきました。こちらにつきましては、行政の職員よりもきっと生の情報である、このように考えております。今後につきましては、確かに課題の1つではあると認識しておりますので、調整等を図って、しかるべきタイミングで違うものができればと諮ってまいりたいと考えております。並行しまして、町としても、まちづくりであったり、そういった部分は進めていながら、全体的に機運が醸成されるようなところも進めていかなければならない、このように認識しております。

以上です。

【関口委員長】 要望の仕方として、考えていかないと、J R東海と同じように要望の相手では困るので、動いてもらうための要望だろうから、それを取り間違えちゃうといけないと思うので、期成同盟会にバックアップしてもらってJ R東海を動かす、国を動かす、このための国会議員の立場だろうと思いますので、その点は今の杉崎委員の発言をしっかりと受け止めてもらいたいと思いますので、よろしくをお願いします。他にございますか。

(「なし」の声あり)

【関口委員長】 それでは、ないようですので、以上をもちまして質疑を終結いたします。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

【関口委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、次に、案件その他に入りますが、皆さんから何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【関口委員長】 今回は6年度末として、今の形での報告をいただきましたけども、来年6月からの都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会としては、今度はどういう形で執行部側が、拠点づくりは生きているでしょうか、どういう形での報告になるか、またこれはしっかりと執行部と協議した上で体制をつくりたいなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、ないようですので、以上で閉じたいと思います。それでは、副委員長から最後の閉めをお願いいたします。

【福岡副委員長】 これにて都市未来拠点・新幹線新駅対策特別委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。

午前9時33分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和 7年 6月 3日

委員長 関口 光男